

## I 調査の実施概要

### 1 調査の目的・対象・方法・期間

調査の目的	令和3年度から令和5年度を計画期間とする『中頓別町第6期障がい福祉計画第2期障がい児福祉計画』策定にあたり、町内の身体障がい者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳所持者及び自立支援医療受給者などの状況やニーズを把握するために行うもの。
調査対象者数と回答者数	配布者132名 回答者74名(56.1%)

## II 調査結果の概要

### 1 回答者の属性

#### (1) 回答者の属性

○ 回答者の方の年代や障がい種別をみると、65歳以上の身体障がい者手帳をお持ちの方が48.8%と上位となっています。次いで、65歳以上の療育手帳をお持ちの方が8.8%、40歳から64歳の精神保健福祉手帳(自立支援医療受給者を含む)をお持ちの方が6.3%となっています。

○ 暮らしの状況については、家族と暮らしている方が58.0%、次いで、福祉施設で暮らしている方が20.3%、一人で暮らしている18.8%、グループホームで暮らしているが2.9%となっています。

### (2) 日常での支援を要する項目

○ 日常で支援が必要な項目について、外出の介助が15.3%と上位となっています。その他に、薬の管理の援助14.7%、家以外の方の人との意思疎通の援助やお金の管理の援助はともに12.1%となっています。

○ 在宅で医療的ケアを受けている方は非常に少なく、服薬管理が63.2%と上位となっています。

### (3) 今後3年以内に望む暮らし

○ 今後3年以内に望む暮らし方としては、現在の暮らし方を望む方が上位で、その暮らし方を送るためには、経済的な支援策が28.3%、在宅で適切な医療が確保できるや在宅に必要なサービスを受けられると考えている方が12.4%となっています。

### 2 日中活動や就労、相談相手、相談先の状況

#### (1) 日中活動について

○ 日中活動について、「1週間に数回外出する」が32.9%と上位となっており、次いで、「毎日外出する」、「めったに外出しない」が、ともに31.5%となっています。

○ 外出する際は、一人で外出される方が55.2%と上位で、次いで、配偶者の方と外出する方が16.4%となっています。

○ 外出の際に困ることは、「公共交通機関が少ない」21.4%、「困った時にどうすればいいのか心配」が13.7%などとなっています。

## (2)就労について

○ 正社員として就労をしている方については、障がいに対する配慮を感じている方、また、勤務条件が同じ方が14.7%となっています。その他の方については、非常勤職員・派遣職員、自営業（農林水産業等）が35.7%となっています。

○ 職業訓練の意向については、85.7%の方が受ける必要がないと考えていることがわかります。これは、回答者が、65歳以上の方が多いたことが起因していると考えられます。

○ 就労支援に求める支援策としては、「具合が悪くなった時に気軽に通院できること」が14.5%と上位で、次いで、「職場の障がい理解、職場や上司の障がい理解」がともに14.0%、「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」が12.2%となっています。

## (3)相談相手について

○ 相談相手については、家族や親せきが37.5%と上位で、次いで、友人・知人が15.8%、施設指導員やかかりつけの医師、看護師が10.8%となっています。

○ 福祉に関する情報についてみると、本や新聞、テレビやラジオのニュースが17.1%、家族や親せき・友人・知人が15.4%、行政機関の広報誌15.4%と上位で、次いで、サービス事業所の職員や施設職員が13.8%、行政機関の相談窓口10.6%となっています。

## 3 障がい福祉サービスの利用状況について

○ 現在利用中の障がい福祉サービスを見てみると生活介護36.7%、施設入所支援30.0%、居宅介護6.7%、放課後等児童デイサービス6.7%と上位となっています。

○ 今後3年以内の利用意向について、現在、サービスを利用していないが、利用量を増やしたいと考えている方が12.0%、現状を維持したいと考えている方が88.0%となっており、いずれも増加傾向にあります。

## 4 権利擁護について

○ 障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがあると答えた方が20.0%、少しあると答えた方が15.4%となっており、およそ40%の方が差別や嫌な思いを経験したことがわかります。

○ 差別や嫌な思いをした場面としては、学校・仕事場が31.0%、外出中、住んでいる地域と答えた方がともに17.2%と上位となっています。

○ 成年後見制度については、名前も内容も知っているとした方が24.1%、名前を聞いたことがあるが、内容は知らないとした方が27.6%、名前も内容も知らないとした方が48.3%となっています。

## 5 災害時の避難などについて

○ 災害時に避難できるかどうかを見てみると、できると回答した方が30.6%、出来ないと答えて方が31.9%、わからないと答えた方が37.5%となっています。